



牧中だより

平成30年5月23日

高岡市立牧野中学校

第1号

校長室のとびら

— 勝利至上主義の落とし穴 —



寒暖の変化が激しく、体調管理が難しい今日この頃です。そんな中、いよいよ市民体育大会が目前に迫り、生徒会の呼びかけで「部活動強化週間」が始まっています。私もソフトテニス部顧問として部活動に情熱を燃やしてきた経験から、この時期になると気持ちが熱くなります。

一方、残念な出来事が世間を騒がせています。アメリカンフットボール部の名門である日大フェニックスの選手による反則タックル問題です。教育の一環として行われる部活動において、「相手選手をつぶして（怪我させて）こい」という信じがたい言葉からは、勝利至上主義の落とし穴が見えてきます。勝つことに意識が奪われ、部活動としての本来の意義を見失ってしまったのです。タックルを受けた選手はもちろん、タックルを仕掛けた選手にも大きな心の傷を残すことになった責任を誰がとれるのでしょうか。これまでフェアプレーで実績を積み上げてきた日大アメフト部 OB の怒りも伝わってきます。

ここまであからさまな事件は特殊な事例ですが、勝利至上主義に接する場面は身近にも存在します。部活動を一生懸命に頑張ってきた子供たちを勝たせてやりたいという思いは、部活動の指導者としては当たり前の気持ちです。選手も勝ちたいという強い気持ちを持つことは大切です。しかし、勝つという結果にこだわることには何の意味もないのです。ただ、一生懸命になればなるほど、結果そのものに価値を求めるといった過ちに陥ってしまう危険が潜んでいることも事実です。このような誤った考え方がチーム内に広がると、意識（価値観）の違いから選手たちの気持ちがばらばらになり、かえって勝利という結果から遠ざかってしまうことにもなりかねません。

私もかつては勝つことに取り憑かれて部活動を指導していた指導者の一人ですが、ある時、教え子たちから学んだことがあります。県選手権大会で優勝を飾った学年が社会人になって集まった部活の同窓会の時でした。厳しい練習に何度もくじけそうになったこと、仲間と励まし合って練習に立ち向かったことなど、当時の生々しい思い出が昨日の出来事のように次から次へと話題にのぼってきます。ただ意外だったのは、県選手権大会で優勝したという話題は全く出てこなかったことです。私としては自分自身でも誇りにしていた過去の栄光に浸りたいという思いはあったのですが、子供たちにとっては県選優勝という結果自体にはさほどの意味は無かったようです。どこまで勝ち上がったかという大会成績ではなく、一生懸命に部活動に打ち込んだことそのものがその後の一人一人の人生につながっているのだと分かりました。

部活動の在り方については、生徒たちにも保護者の皆様にも様々な考え（価値観）があると思いますが、今回の日大アメフト部が起こした事件を、教育活動としての部活動の本来の意義を見失わないための教訓にしなければなりません。牧中生諸君には勝利を目指す中で、結果にとらわれず、一人一人が自分の持てる力を精一杯発揮してきてくれることを校長として心から願っています。

2018 家族でチャレンジ!

第1回 ノーメディア・チャレンジ・ウィーク

5月24日(木)～5月31日(木)

本年度も、昨年度に引き続き、「ノーメディア・チャレンジ・ウィーク」を実施します。

1 ねらい

本年度のアクションプランの具体的な達成目標は「進んで学習に取り組む生徒」で、「充実した家庭学習の習慣が身に付いている」生徒の割合が各学年80%以上が目標です。

そこでノーメディアチャレンジウィークでは、自ら「学ぶ力」(考える力、学ぶ意欲)を高めることをねらいと考えています。テレビを消すこと、ゲームやインターネットをしないこと、携帯電話、スマホを使わせないようにすることがねらいではありません。

この取組を通して、家庭での過ごし方を見直し、基本的な生活習慣の改善や親子の会話、充実した家庭学習の時間をしっかりと確保できるようにチャレンジしましょう。

2 内容

お子さんと一緒にどのコースでチャレンジするかを決めてください。

コース1	食事(夕食)の時だけノーメディア ☆夕食の時は、テレビやゲームを消すコース
コース2	メディア1日2時間まで ☆番組や時間を決めて取り組むコース
コース3	メディア1日1時間まで ☆番組や時間を決めて取り組むコース
コース4	学校から帰った後、ノーメディア ☆メディアとのつきあいは、朝だけにするコース
コース5	朝から寝るまでノーメディア ☆1日まったくテレビ・ゲーム・パソコンなど見ないコース
コース6	(※コース6は各ご家庭で決めた内容を書いてください。)

3 期間

本校の中間テストと期末テスト発表にあわせて実施します。(年間5回を予定)

●第1回の記録用紙は別途、お子さんに持たせましたので、ご理解ご協力をよろしくお願いします。